

税金の集め方 使い方怒りに



兵庫県商工新聞

編集 兵商連新聞編集委員会
発行 兵庫県商工団体連合会
〒652-0811 神戸市兵庫区新開地4-4-12
☎ (078) 341-0563 (代)
FAX (078) 341-0885
http://www.hyoshoren.co.jp/
Email: info@hyoshoren.co.jp

2020年2月
第330号



1月12日、支部ごとに立看板設置の統一行動を実施しました。小雨の降る中、支部役員と事務局員が協力して、1年が経ち色褪せた看板を、ピカピカの看板に取り替えました。「このきれいな看板を見て、新会員がいっぱい来てくれるといいなあ」と素晴らしい1年になることを願って設置しました。(加古川・加古・村上通信員)

地域に民商を知らせよう!



1月9日、立看板が事務所に到着すると、宮下昭男副会長は早速塚口支部の役員を誘って設置に走りまわりました。19日の拡大統一行動でも、役員・事務局員が組を組んで立看板・ポスターを貼り出しました。「年々、貼り出せる所が減ってるなあ。新しく貼らせてもらえる所を開拓しなければ」と話し合いました。(尼崎・山本通信員)

市への要望書提出と徴収課との交渉にも取り組もうと準備を進めているところだ。参加者からは「武器はいらん！暮らしに使ってほしい」「インボイスが始まったらどうなるか不安」「これ以上苦しめないで！」などの怒りの声が出ました。(宝塚・岡通信員)

垂水民商・東垂水支部の城が山班は、1月22日、スナック清丸で班会を開き6人が集まりました。役員の大谷正子さんが会員紹介や署名など、春の運動の協力を訴えた後、商売の状況や町の変化なども交流しました。安倍首相の「桜を見る会」など税金の私物化に対し、先田さん(家電販売)は「インターネット税など、新たな税金をつくることはおかしい。リフォームなど何でもやらないと利益が出ない中、一括で払う消費税は辛い」とため息。柏原さん(豆腐卸小売)も「今年の消費税申告は10%増



三田民商では、1月17日・20日昼・夜と計4回、自主計算パンフレットを使って確定申告学習会を行いました。参加者が2、3人だったので、「あなたの場合は何？」と、具体的な学習会になりました。まず、消費税が10%に増税されて3ヵ月半、暮らした商売がどう変わったか話し合いました。参加した会員からは

「消費者として物の値段が高くなったと実感している」「10%は計算しやすいので余計に高いと感じる」と。また、会員の実態をもとに、「インボイス制度が始まったらどうなるか」も学習。会員から、「こんな増税とんでもない」「税金も社会保障費も高い」「大企業に自分の負担をしろ」と怒りの声が寄せられました。(三田・竹内通信員)

1月16日・20日、宝塚民商では、班会の前夜に確定申告準備学習会を開催し、13人の役員が参加しました。自主計算パンフレットと班会討議資料にもとづいて、情勢や昨年10月からの消費税増税の影響、2023年10月から始まる「インボイス制度」について話し合いました。また、最近の税務調査の状況も報告し、改めて3・13重税反対全国統一行動での集団申告の大切さと民商弾圧の動きに気をつけ「自分の申告に責任を持つこと」などを話し合いました。会内外とも国保税などの税金の滞納相談が増え、強迫や脅しなどの行き過ぎた市の徴収姿勢が問題となっていました。春の運動では、

市への要望書提出と徴収課との交渉にも取り組もうと準備を進めているところだ。参加者からは「武器はいらん！暮らしに使ってほしい」「インボイスが始まったらどうなるか不安」「これ以上苦しめないで！」などの怒りの声が出ました。(宝塚・岡通信員)

消費税への怒り続々 垂水民商

税もあり納税が不安」と。そのような中、民商で取り組んだ大腸がん検診で「家族みんな大丈夫だったよ」と、中島さん(スナック)からのうれしい報告に笑顔が広がりました。

学習会で増税に怒り 三田民商

力を合わせ、自主申告を 宝塚民商

の横暴をゆるさない野党共闘の発展が報告され、「消費税5%減税、憲法9条を守る対話と運動を広げて、民商の組織も大きくしよう」と力強く話されました。

行動提起の後、尼崎・山本直弘事務局長、兵庫・村上健次会長、加古川加古・池本信孝会長が決意表明。がんばろう三唱で閉会しました。



兵商連新春決起集会開く

1月10日、兵商連は新春決起集会を開き、135人が参加。磯谷吉夫会長のあいさつの後、全商連春の運動DVDを視聴。その後、日本共産党の清水ただし衆議院議員が「市民と野党の共闘強め、消費税5%減税への運動を広げよう！」と題し講演。桜を見る会やカシノ疑惑、原発マネーなど安倍政権

の横暴をゆるさない野党共闘の発展が報告され、「消費税5%減税、憲法9条を守る対話と運動を広げて、民商の組織も大きくしよう」と力強く話されました。

もうかき 2月3日は節分で季節の区切り目だ。4日からは暦の上では春になる。「鬼は外、福は内」と豆を巻き、邪気を払う行事が全国各地、多くの家庭で行われる▼今年の豆まきは「安倍は外、福は内」と叫びたい」という家庭も多いとか。憲法改悪に執念を燃やし、消費税の増税や複数税率の導入など中小業者を塗炭の苦しみに追いやる、そんな安倍政権を何とか倒したい、その願いは津々浦々に広がっている。そのためにも、市民と野党との共闘の発展をと全国各地で活動が進められていく▼以外にも「福は内、鬼も内」と言ってお豆をまく地域も多いと聞く。鬼を改心させて、仲間に入れようという優しさからだ。しかし、安倍政権に改心の見込みはないようだが、ちなみに立春は太陽の軌道にもとづく計算で割り出すそう、その前日にあたる節分もその影響を受ける。今年までの35年間、節分は2月3日だったが、来年からは2月2日になるとのこと、ここにも時代に区切りが見える。今年こそ日本の政治も時代の区切りを作りたいと思いつながら豆をまく。(Y)

阪神・淡路大震災から25年 公的支援の拡充を

1995年1月17日、午前5時46分、震度7強の地震が阪神・淡路を襲いました。あの日から25年。市民商・兵商連も参加する阪神・淡路大震災復興・復興兵庫県民会議は、25回目のメモリアル集会を1月17日神戸で開き、230人が参加しました。



県民会議代表委員の畦布和隆さんは、「町はインフラを中心に復興したが、亡くなられた方は生き返らない。人命救助が一番。あの時、重機があれば助かった命もあった」と当時を思い出し、開会のあいさつ。災害被災者支援と災害対策改善を求める全国連絡会代表委員の住江憲勇さんは、「阪神・淡路大震災時は、公的支援も少なく融資一辺倒だった。借上げ住宅追い出し問題、災害援護資金、中小業者に貸し出した災害復旧資金融資など未だ問題が残されている。仮設住宅

から数えると孤独死は1405人にのぼる。被災者に寄り添う政治ではなかった。住宅再建支援法はできたが不十分。改正が求められる」と連帯のあいさつを行いました。借上げ住宅追い出し裁判、県民会議の活動報告の後、各団体の代

表が報告。兵商連からは、磯谷吉夫会長が、「25年間、苦しくきびしいたたかいたった」と、自らの生活と生業の再建を話しました。最後に集会アピールを拍手で採択し、新たなたたかいを全国で繰り広げることが誓い、閉会しました。

震災をふりかえって

豊村和正さん(運送)「須磨民商」

1970年代より、父の代からのケミカルシューズ地場産業である靴底材のゴム熟成型製造を手伝いはじめました。80年から専従になり、父と兄とあいついで亡くなった後、実質経営を引き継ぐこととなりました。その間、従業員2人と家族でコソコソ営業しましたが、阪神・淡路大震災で自宅兼工場を全焼し、すべて失いました。避難所で2〜3週間過ごし、営業再開を断念し、アルバイトからトラック運送への道にすすみました。震災前の借金を災害復旧融資で穴埋めするという自転車操業をし、当時寝る間も借しんで働き続けたのは思い出したくない記憶です。そのような中、全壊の須磨民商が会員の店裏で事務所を構え、全国の仲間からの救援物資、炊き出しなどを受け入れ、地域を励ましてくれ、それが心の支えになりました。つらかったことは、

平和と憲法を守ろう

世界大会&NPTに参加します

兵商連 副会長 加口良秋



て訴えるべきです。

2017年7月に採択された核兵器禁止条約は50カ国が批准すれば90日後に発効されます。現在は34カ国が批准、80カ国が署名をしており、条約発効は時間の問題と言われています。

今年には広島・長崎の原爆投下から75年、日本は世界で唯一被爆した国です。本来はこの国よりも積極的に、世界に向けて核兵器をなくすために先頭に立つ



2015年NPT再検討会議

爆禁止世界大会&NPT(核不拡散条約)再検討会議が開かれるニューヨークに4月23日〜29日まで、兵商連の代表として参加させていただきます。



震災で倒壊した須磨民商

がニューヨークで開かれるのは初めてです。日本と世界の反核・平和団体が米国マンハッタンでパレードと署名提出を行います。兵庫県から多くの「ヒバクシャ国際署名」を集め、トランプ大統領に突きつけない。そして核兵器なくせの声をニューヨークに響かせたいと思います。「平和こそ商売繁盛」1人でも多くの署名を近くの民商にお寄せください。ご協力よろしくお祈りします。

私の商売ものがたり

NO.204

北 美 恵 子 さん
(美容業)
姫路民商



「子育て」も「商売」も私らしく

幼い頃から髪をさわるのが好きで、将来は美容業をやりたいと思っていました。修業を積み重ね、28歳で独立しました。きっかけは「子育て」と「商売」を両立するためです。両親は共働きでしたが、母は働ながら毎日手作りのご飯を作ってくれていました。そんな母の姿を見て育ったことが影響したのか「お勤めだと、子どもを連れて仕事ができない。ご飯を作る時間を持って乗り越えていくことが、その後多発する自然災害で苦しむ被災者への一番の励ましになると信じています。今、三宮はかつての活気はありません。会社経費で飲みに行けなくなり、安い店やチェーン店ばかりが目につきます。個人店はどんどん廃業に追い込まれています。消費税は5%に戻し、お客さんが飲みに行けるような社会にして欲しいです。(神戸・岡本通信員)

好きな商売続けたい 必死で生きた25年

木下 登志男さん(飲食)「神戸民商」

脱サラで居酒屋をはじめて7年目、阪神・淡路大震災が起こりました。周りに死傷者がなかったのは幸いです。震災前は景気もよく、商売も順調でしたが震災で店は全壊。家賃が高い仮店舗に移らざるをえませんでした。再建されたビルで、大きな借金をして店舗を借り、通常営業に戻るまで、結局1年4ヵ月かかりました。誰も予想しなかった震災。その日その日を精一杯、早くから仕

新春クイズの答え

- ①あまいろ ②あさぎ ③きょうらいろ ④ひいろ ⑤しょうじょうひ ⑥こんじょう ⑦ぐれん ⑧ぐんじょう ⑨めういろ ⑩えびちや ⑪あい ⑫こむらさき ⑬ひわだいろ ⑭

多数のご応募、ありがとうございました。正解者の中から抽選で5人に図書カードをお送りしました。

経営情報

申告納税制度は「納付する税額が納税者のする申告により確定することを原則」としています。民商では、会員同士が集まって話し合い、相談し助け合っ

編集後記

新春の宣伝行動中、急に冷たい雨。初対面の業者婦人が「寒いやろ」と身につけていたマフラーを外して、私の首に。手編みの暖かさにはホッと包まれた。人の為世の為に生きる中小業者が輝く社会へ、春は民商の出番！(E)

サロンド・サクセス
〒670-0061 姫路市西今宿3-5-1
リパティール今宿1F
☎079-292-1581